

新幹線の屋根上から爆音！ さらに架線ガイシから火花も！いったい何が起こったのか！

6月19日、台風4号の影響で東海道新幹線のダイヤは大幅に乱れていました。そのような中、「ひかり478号」が浜松駅に到着する際に12号車パンタグラフ付近から爆音が発生、さらには架線のガイシから火花も見えたという事象がありました。

この様子はテレビのニュースでも放映され、乗客が驚く様子も映し出されていきました。駅の案内放送などでは「屋根上で異音感知し車両不具合が発生したため、ひかり478号は浜松駅で運転打ち切りにします」と放送をくり返し、東海道新幹線のダイヤはさらに混乱することになってしまいました。車両所では不具合発生の日夜間に、管理者から何の説明もないまま、車両のガイシを磨くよう指示された社員もいます。

JR東海労は今回の車両不具合について、状況及び原因と同種不具合の再発防止策を明らかにすること等を会社に求め、7月4日に申し入れを行いました。

申し入れの内容

1. 「ひかり478号」が運転打ち切りに至る経過について、事実関係を詳細に明らかにすること。
2. 爆音と火花の発生について、状況及び原因の詳細を明らかにすること。
3. 同種車両不具合の再発防止対策について明らかにすること。
4. 運転事故や災害による事故が発生した場合は、直ちに労働組合に説明し協議の場を持つこと。

台風で混乱するダイヤがさらに混乱！
会社は原因と対策を明らかにせよ！